

潜入!! 工事現場 🔍

途ちゅアフター

第23回>>> 市立柏高校 グラウンド改修工事



トチュー調査員

寒さに耐える日々もあと少し。早く桜が見たいなあと思っているトチューです。今回は市立柏高校のグラウンドが生まれ変わると聞いて、早速工事現場を見に行ってきたよ!

市立柏高校のグラウンドは、これまで砂であったため水はけが悪く、雨が降ると乾くまで数日かかり、体育の授業や部活動に支障をきたしていました。そこで、生徒たちがより良い環境で活動ができるよう、現在、グラウンドに人工芝と陸上競技用のトラックを整備しています。

整備する面積はおよそ14,000平方メートルで、なんと東京ドームのグラウンドよりも広いそうです。この広大な敷地に、重さが最大800キログラムもある芝のロールをフォークリフトで敷いていきます。人工芝を敷いた後は、クッション材としてゴムチップをまくことで



ゴムチップがクッションになるんだね!

足への負担を軽減したり、転倒時の衝撃を吸収したりする効果があるので、砂のグラウンドに比べて、より快適で安全に運動ができます。また、この芝は公式大会が行われる陸上競技場などでも使用されているもので、生徒たちは大会本番に近い環境で練習を行うことができるのだそう。

トチュー調査員の



もっと知りたい!

Q1

工事期間中の体育の授業や部活動はどこで行っているの?

A

体育の授業は市立柏高校の野球場で行い、部活動は市内外の運動場を借りるなどして練習をしています

Q2

市立柏高校の生徒しか使えないの?

A

グラウンドは貸し出しも行うため、保育園や小・中学校、町会などのかたも利用できます

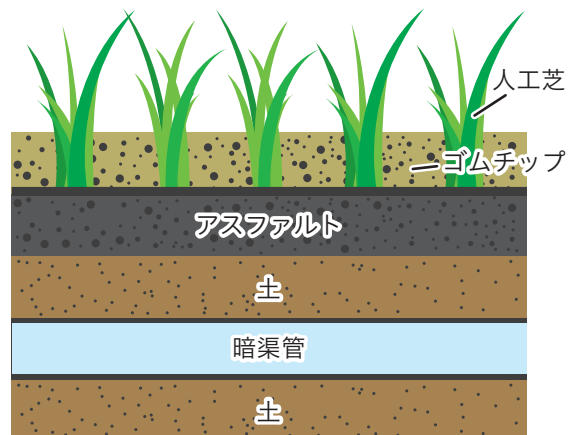


とっても重いから、フォークリフトを使って敷くんだね!



さらに、グラウンドの水はけをよくするため、芝には細かい穴を開けています。雨が降ると、雨水がこの穴を通り、芝の下に埋められた暗渠管（あんきょかん）という水路に流れ、側溝から排水されます。この仕組みのおかげで、雨が降った後でもすぐに利用できるんですね。

芝を敷き終わると、最後にトラックを整備します。ゴム製のタータートラックなので、こちらも水はけやクッション性に優れています。完成したグラウンドが使えるようになるのは4月から。生徒たちは、完成を心待ちにしているようです。



新しく生まれ変わったグラウンドで、体育の授業や部活動の練習の質が上がること間違いなしですね。ご協力いただいた市立柏高校と教育施設課の皆さん、ありがとうございました!